

JICAの対カンボジア支援の概要



2022年1月13日
JICAカンボジア事務所

本日の内容

I. カンボジア王国概要

II. カンボジア支援概要および事業実績

- ✓ 各重点分野における取り組み事例
- ✓ 民間連携事例
- ✓ DX活用事例

III. コロナ影響下におけるJICAの取組と今後の展望

1. カンボジア王国概要

カンボジアの基本情報



カンボジアの基本情報

出所：外務省HP等

基本情報

- 面積：18.1万平方キロメートル（日本の2分の1弱）
- 人口：15.3百万人（2019年国勢調査）
- 首都：プノンペン
- 民族：カンボジア人（クメール人）が9割とされる
- 宗教：仏教（一部少数民族はイスラム教）
- 政体：立憲君主制
- 元首：ノロドム・シハモ二国王（2004年即位）
- 国会：二院制
 - 上院（全62議席、任期6年）
 - 国民議会（下院）（全125議席、任期5年）
- 首相：フン・セン首相（人民党党首）
- 外交政策：中立・非同盟、近隣国を始めとする各国との平和共存。近年は中国との政治的・経済的関係が深化。

- 一人当たりGDP：1,655米ドル（2020年、IMF推定）
 - ・2016年、世銀の所得分類にて、低所得国から低中所得国に移行
 - ・GDP構成比：農業(25.0%)、工業(32.7%)、サービス業（42.3%）
- 主な貿易相手国・地域（2020年、カンボジア商務省）
 - 輸出：米国（30.5%）、EU(18.6%)、中国（6.3%）、日本（6.1%）、英国（4.8%）
 - 輸入：中国（37.7%）、タイ（15.2%）、ベトナム（14.1%）、EU（3.5%）、日本（3.4%）
- 主な貿易品目（2019年JETRO）
 - 輸出:衣服及び縫製品（64%）、靴（8.4%）、農産物（6.0%）、自転車（2.8%）
 - 輸入:縫製原料（19.2%）、石油製品（10.9%）、建設資材・機械（10.4%）、車両（10.2%）、食品・飲料（5.0%）

略史

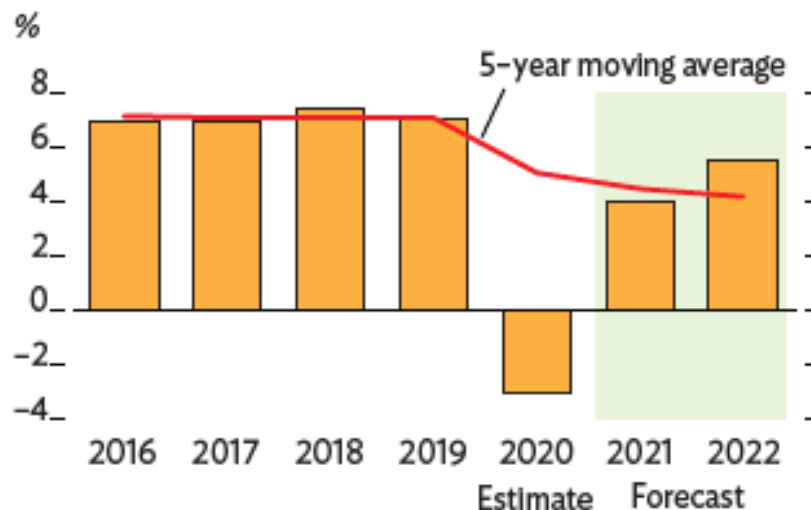
- 1953年：カンボジア王国としてフランスから独立。
- 1970年：ロン・ノルら反中親米派、クーデターによりシハヌーク政権打倒。クメール共和国樹立。新中共産勢力クメール・ルージュ（KR）との間で内戦。
- 1975年：KRが内戦に勝利し、民主カンボジア（ポルポト）政権樹立。同政権下で大量の自国民虐殺。
- 1991年：パリ和平協定。
- 1992年：国連カンボジア暫定統治機構（UNTAC）活動開始（92～93年、日本初の国連PKO参加）。
- 1993年：UNTAC監視下で制憲議会選挙。新憲法で旺盛復活。JICAカンボジア開設。
- 1999年：ASEAN加盟・円借款再開。

カンボジアと周辺国の経済指標比較

国・地域名	カンボジア	ラオス	ミャンマー	ベトナム	タイ	インドネシア
人口 (百万人)	16.5	7.3	52.8	96.5	69.6	266.9
名目GDP (億USD)	267	18	686	3,295	5,436	11,201
GDP成長率 (2019)	7.0	4.7	6.5	7.0	2.4	5.0
GDP成長率 (2020)	-3.0	-0.6	2.0	1.6	-7.1	-1.5
GDP/capita (USD)	1,620	2,534	1,299	3,416	7,807	4,197

2019年ベース、出所：IMF、みずほ総研、Bloomberg

カンボジア 経済概観



出所：Asian Development Outlook (ADB, 2021)

- ◆ 実質GDP成長率は、過去10年、年平均7%程度を継続（コロナ前まで）。**東南アジア諸国の中でも高い経済成長率を維持**。牽引役は縫製品（欧米輸出）、観光業、建設業・不動産業。産業の高度化・多様化、輸出構造の変革/多様化により、対外ショックの耐性を高めることが課題。
- ◆ **製造業の8割を占める縫製関連が過去10年鈍化傾向**、過去の勢いは失われつつある。サービス部門は、通信・交通や不動産関連と多角化が進み堅調に推移、近年の経済成長を下支え。
- ◆ **直近の経済成長予測**：ADBは感染状況の悪化により、観光産業への打撃が長期化するとの見方から、2021年4月に4%とした同年の実質GDP成長率を、9月には1.9%と下方修正（世銀は6月の4%予測から更新無）。貿易収支は感染拡大に伴う工場封鎖や国境封鎖等の措置により2-6月期に一時的に大きな赤字となったが、靴、自転車、農産品等の輸出拡大に伴い、回復基調にある。



◆経済成長指標：極めて高い経済成長

2010～2019年の10年間の平均7%超（世界3位）



◆人間開発指標：改善したが更なる加速が必要

2019年人間開発指数144位/188か国

指数は改善（1990年0.386→0.5942018年0.594）



◆貧困削減指標：極度の貧困からの脱却

貧困率 47.8%（2007）→17.8%（2020）

カンボジアの開発の特徴

- ✓ 内戦の影響による人材の枯渇、組織的・社会的キャパシティの低下
- ✓ 平均年齢24.5歳、14歳以下が人口の3割以上、人口ボーナス期が2045年まで続く見込み
- ✓ 地方部人口割合が高い（全体の79%（2015）、世界で14位）
- ✓ 高度なグローバル市場志向の経済（対GDP貿易割合146%、世界8位（2015））
- ✓ 高い対外援助依存・堅調な外国投資（主に中国から）、市場に流通する90%以上を米ドルが占める高度なドル化

カンボジアの比較優位と課題

(1) カンボジアの優位性

- ・ 豊富な若年労働力と競争力のある労働者賃金

※最低賃金はカンボジアが182ドル/月（2019年1月～）

（タイは約1,000円/日、ベトナムは約2万円/月。ベトナムは外資誘致に悪影響が出ると判断され、最低賃金の伸びが収まっているものの、カンボジアでは首相が2023年までに月250ドルまでの引き上げを約束）

- ・ 生産拠点の最適化
- ・ 外国投資への優遇措置
- ・ 特惠関税対象国による無税・無枠での輸出可

※EUが2020年2月に特惠関税の一部適用停止を決定。

- ・ ASEAN経済統合による市場アクセス拡大期待

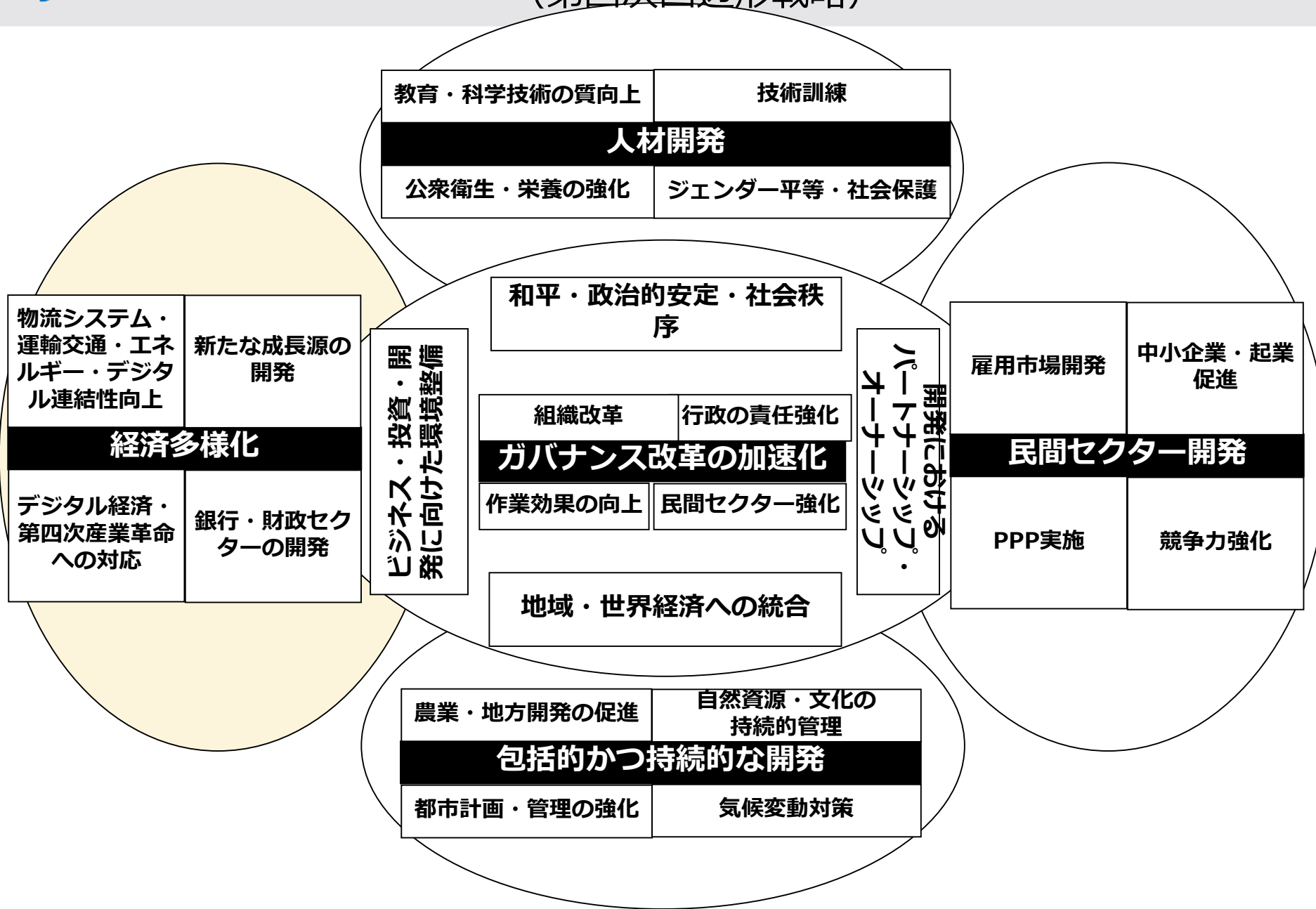
(2) カンボジアにおける主な課題

- ・ 不安定な電力・高い電力料金
- ・ 高い通関手続きコスト、高い物流コスト
- ・ 産業人材不足

II. カンボジア支援概要と事業実績

カンボジア政府の開発戦略

(第四次四辺形戦略)



【日本政府のODA基本方針（大目標）】

2030年までの高中所得国入りの実現に向けた経済社会基盤の更なる強化を支援

重点分野	開発課題	協力プログラム	対象分野（例）
産業振興支援	① 産業競争力強化	物流円滑化促進	物流/港湾・税関
		投資環境整備	電力・（通信）
	農業振興・農村部の生計向上	産業人材育成	人材教育・産業育成
		農業振興	農業・水産・灌漑
生活の質向上	② 都市生活環境の整備	都市環境改善	上水・下水・廃棄物
		都市機能強化	都市交通・住宅
	保健医療・社会保障の充実	保健システム強化	保健医療
ガバナンス強化を通じた持続可能な社会の実現	③ ガバナンス強化 公共財への取り組み	法整備・行政機能強化	法整備・地方行政
		環境管理	自然・環境社会配慮
		対人地雷・不発弾除去	地雷/不発弾

①産業振興支援：物流円滑化促進

産業高度化、アセアン連結性強化に対応する物流改善、輸送網強化の支援

◆ 物流マスタープラン策定支援

◆ 南部経済回廊の整備

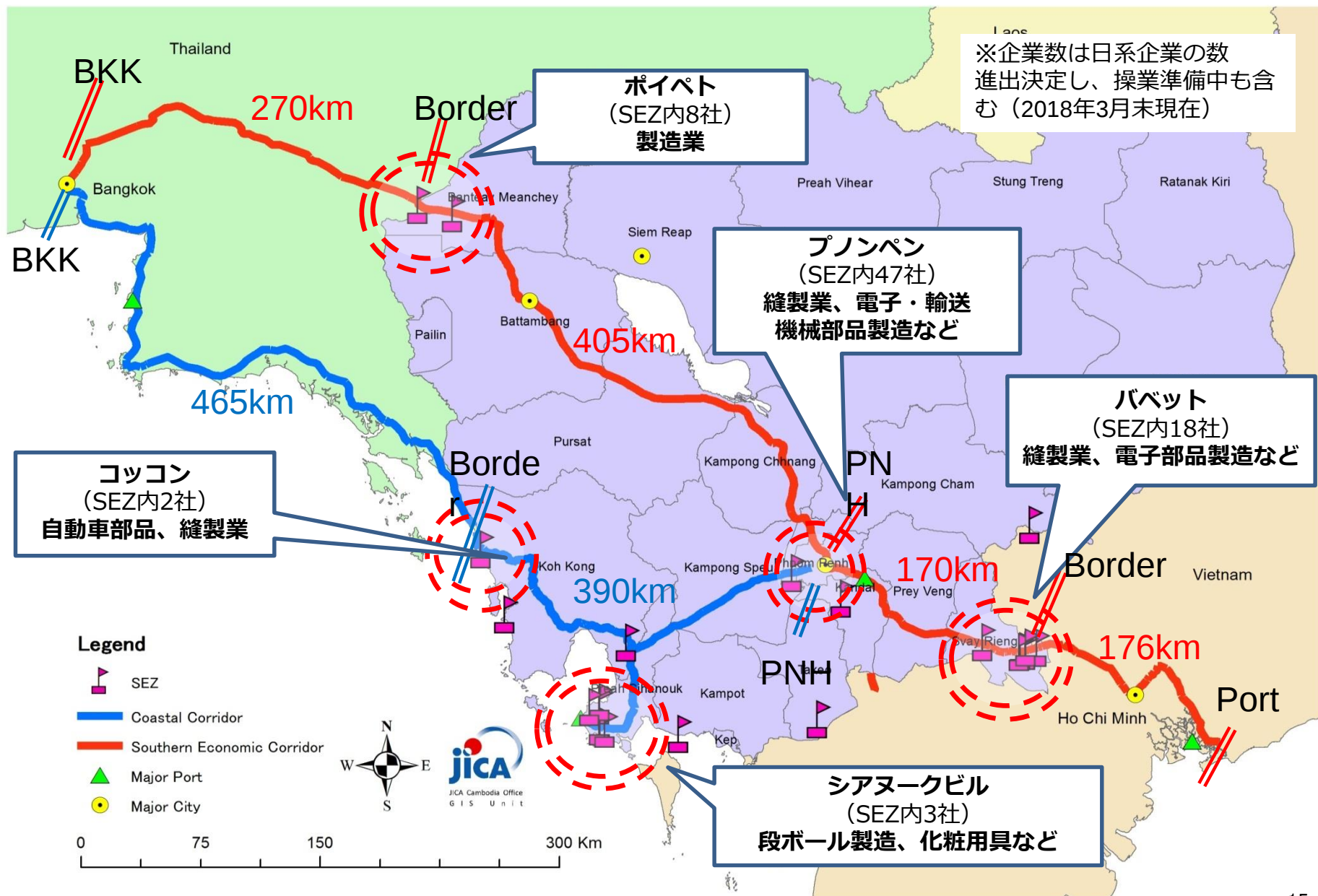
- ・ 国道1号線改修（2017年完工）【無償資金協力】
- ・ つばさ橋（2015年開通）【無償資金協力】
- ・ 国道5号線改修【有償資金協力】（2023年全線4車線化完了予定）
- ・ 道路・橋梁維持管理支援【技術協力】

◆ シハヌークビル港の開発

- ・ 港湾公社への出資【海外投融資】
- ・ 多目的ターミナル整備（2018年8月完工）【有償資金協力】
- ・ 新コンテナターミナル整備（2019年度詳細設計予定）【有償資金協力】
- ・ 港湾公社の経営・運営能力の強化【技術協力】
- ・ 港湾手続きの電子化【無償】
- ・ シハヌークビル港SEZ整備【有償】・投資促進【技術協力】

Improvement of logistics system (TA),
trade facilitation through customs modernization (TA)

南部経済回廊と日系企業の進出状況



①産業振興支援：投資環境整備（電力）

主要電力網の整備と電力技術者の育成を支援し、海外直接投資促進の重要な要素である安定的な電力供給システムの整備を図る。

- 南部経済回廊配電網整備計画【無償資金協力】
(2018年8月完工)
- プノンペン首都圏送配電網整備事業フェーズ1,2【有償資金協力】
- 電力経済・計画アドバイザー【専門家派遣】
- 送変電システム運営管理能力向上プロジェクト【技術協力】



南部経済回廊配電網整備計画 対象地域

②生活の質改善：都市環境改善

Japan's Support Towards Clean and Safe Water for All

PPWSA: Success in Numbers

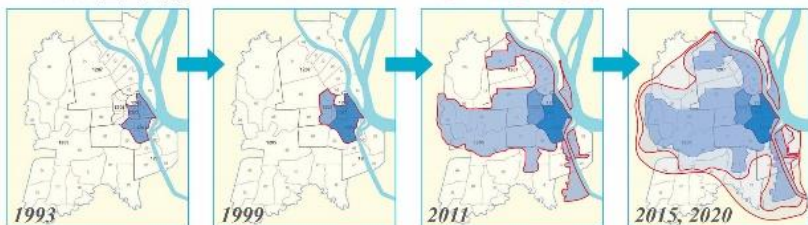
PPWSA: Phnom Penh Water Supply Authority

Water Supply Coverage Area

1993 20%

2011 90%

Increased 4.5 times!



Water Production Capacity (m³/day)

1993 65,000 2011 330,000

5 times more water produced everyday!

Supply Duration (h/day)

1993 10h/day 2011 24h/7days a week

24 hours a day!



Water Pressure (m)

1993 2m 2011 25m

Water coming out Much Stronger!



Water Loss

Non-Revenue Water Ratio (%)

1993 72%

6% 2011

Saving Water and Very Efficient!!

Top Class in the World!!

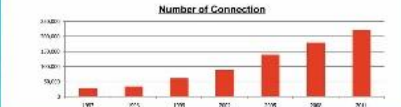


Number of Connections

2011 219,498

1993 26,881

Most of people have connection to water now!



Tariff Collection Ratio (%)

1993 48% 2011 99.9%

Everyone is paying for safe water!



Operational Efficiency of PPWSA staff

1993 2.75staff for managing 1,000connections 2011 20staff

10times more efficient!

Water Quality

Quality of water produced is International Standard!! (WHO Standard)



- 上水道支援はプノンペンでの成功から地方展開を進めてきており、引き続き資金協力と技術協力のハードとソフトの支援を通じた水道事業の改善を図るとともに、法制度の整備を支援
- 資金や経験を積んだ公社に対しては民間資金の活用も模索

③ガバナンス：ジェンダー平等の推進

カンボジア 女性の経済的エンパワメントのためのジェンダー主流化プロジェクト

2017年～2022年

女性課題省の能力強化を通じた支援



出典： <https://www.jica.go.jp/project/cambodia/023/index.html>

- 女性の経済的エンパワメントを推進していくための行政能力の向上を支援。
- 女性課題省や農業・農村開発省、商業省などを支援し、実際にコミュニティで女性たちの生計向上や起業に向けた取り組みを支援しながら女性の経済的エンパワメントの推進に向けた政策・施策の策定や人材の育成、省庁間の連携を支援。
- コロナの影響の調査、また支援を実施

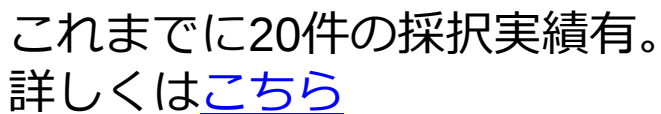
民間連携事業：教育アプリ



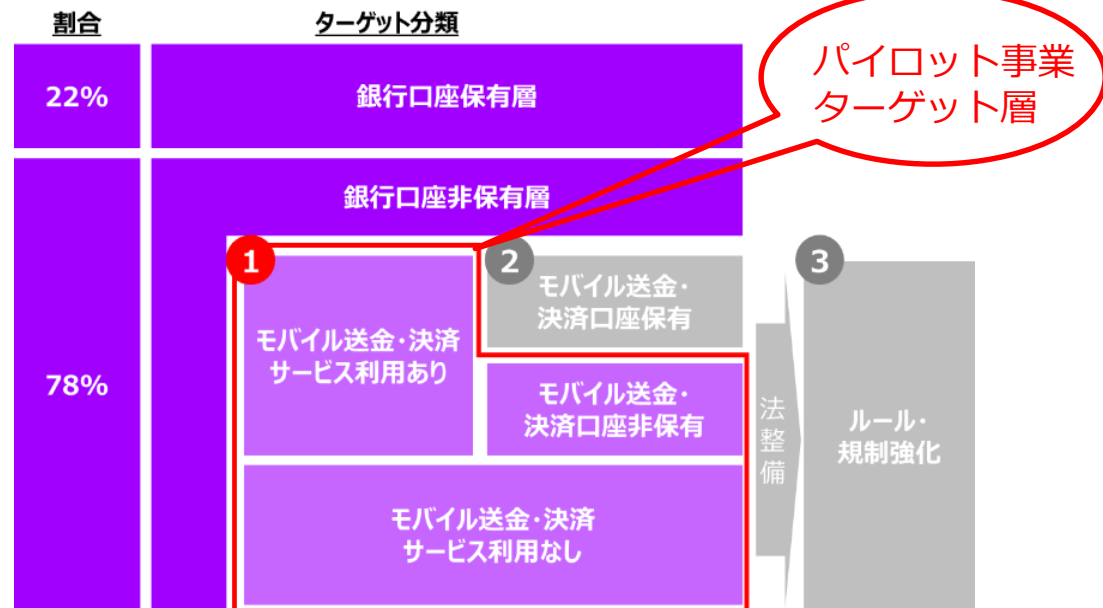
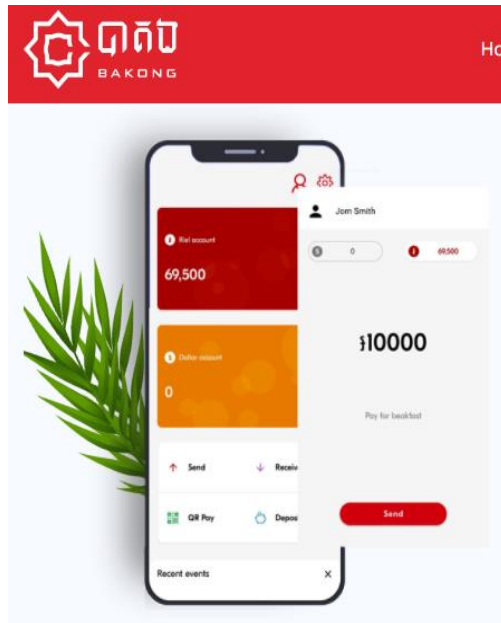
- ワンダーラボ株式会社 アプリ教材「Think! Think!」の活用による初等教育のSTEM学力向上に関わる普及・実証・ビジネス化事業（2020年2月～2022年6月）
- 「学力の経済学」中村牧子教授と効果を実証測定
- コロナ下の学校閉鎖において、アプリを無料開放。
- 教育省や国営放送によるオンライン授業配信を実施。

詳しくは[こちら](#)





DX活用事業：デジタル通貨



- 「DX 主流化に向けた情報収集・確認調査（2020年12月～2022年3月）」：複数国を対象に、デジタル技術・データ活用の状況を調査し、パイロット活動を通じて今後の開発事業の DX 推進の方向性を検討することを目的に実施。同調査において、カンボジア王国における中央銀行デジタル通貨（バコン（Bakong））の普及に向けた調査・実証事業を実施。公共バス、病院、小売店の支払いにおけるバコン利用を促進。
- バコン：日本企業ソラミツ社が開発したブロックチェーン技術に基づくデジタル通貨であり、世界で初めてとなる中央銀行が発行したデジタル通貨として注目を集める。

III. コロナ影響下におけるJICAの取組と今後の展望

カンボジア COVID-19 状況

Daily new confirmed COVID-19 cases

Due to limited testing, the number of confirmed cases is lower than the true number of infections.

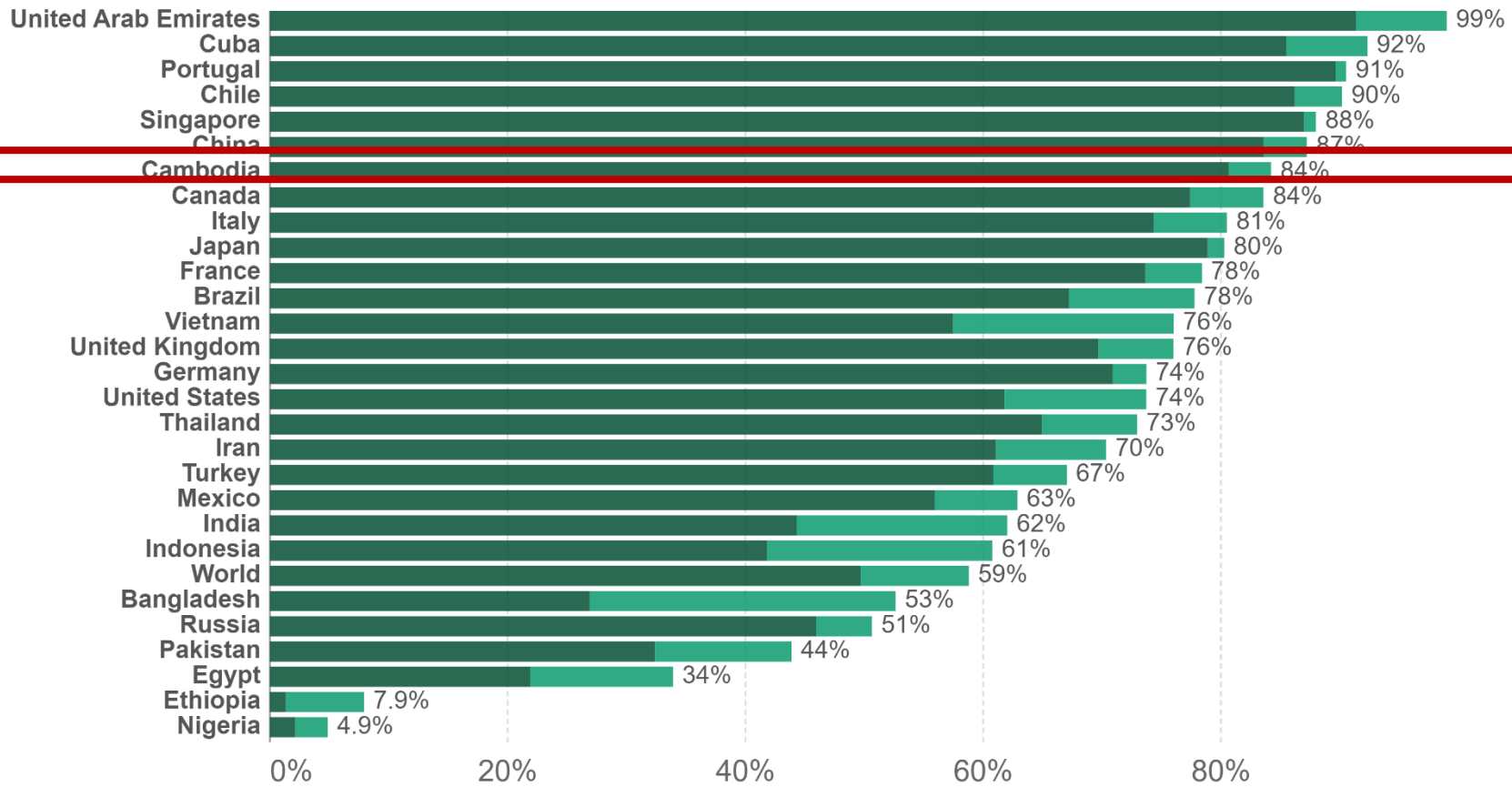
Our World
in Data



Share of people vaccinated against COVID-19, Jan 5, 2022

Our World
in Data

■ Share of people fully vaccinated against COVID-19 ■ Share of people only partly vaccinated against COVID-19

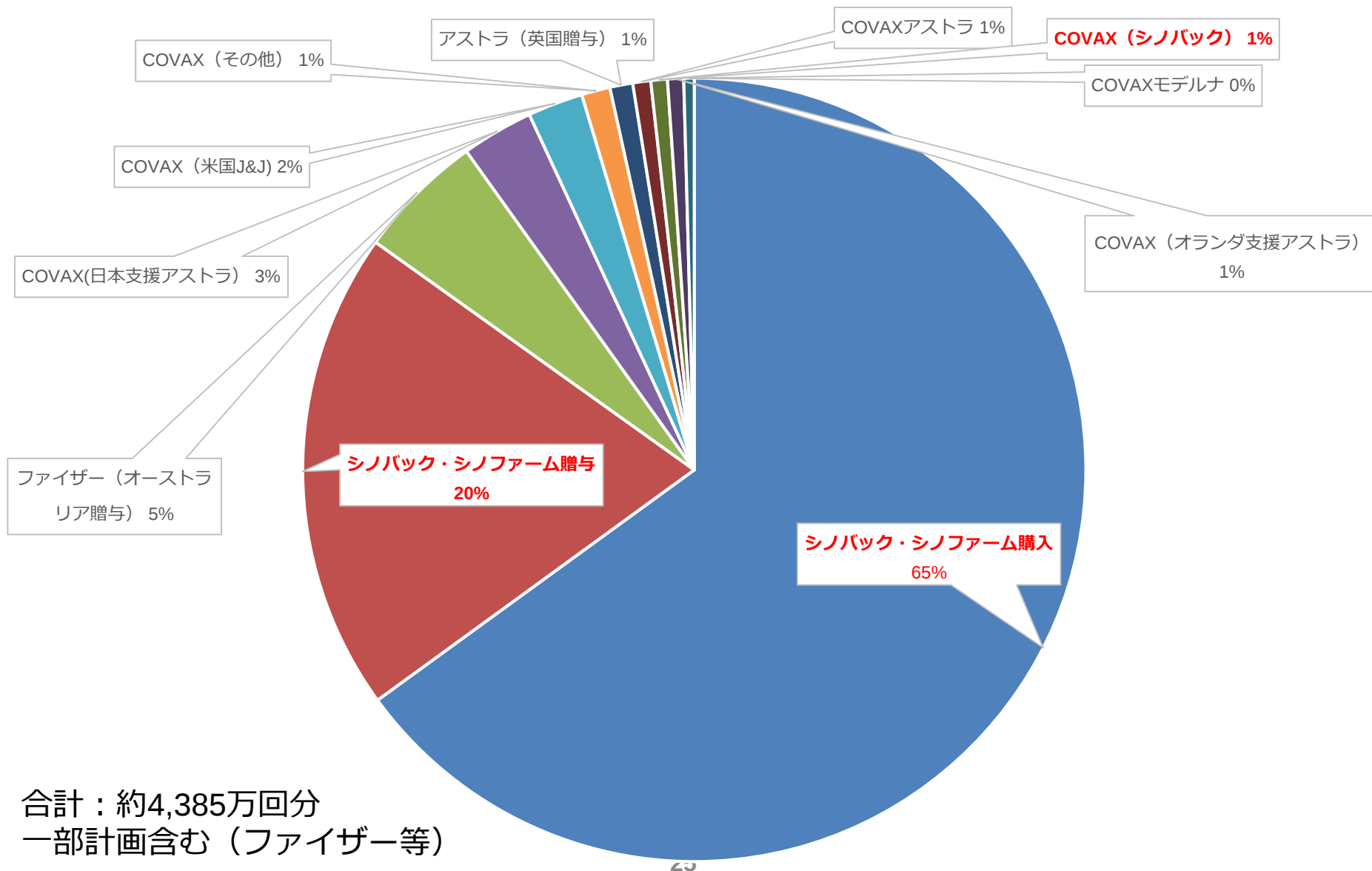


Source: Official data collated by Our World in Data

Note: Alternative definitions of a full vaccination, e.g. having been infected with SARS-CoV-2 and having 1 dose of a 2-dose protocol, are ignored to maximize comparability between countries.

CC BY

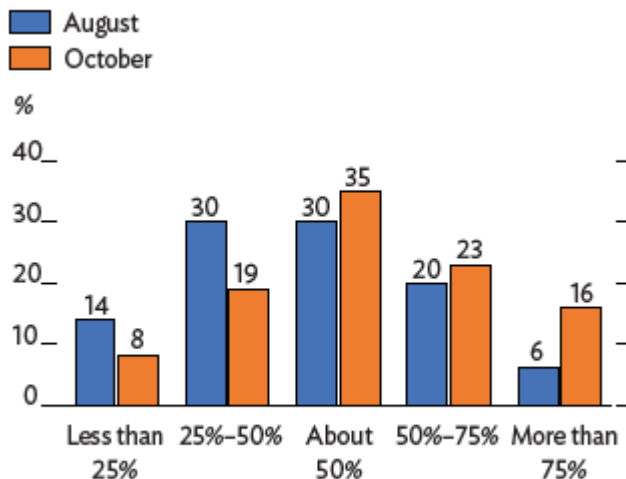
カンボジアのワクチン調達・入手



COVID-19の影響（世帯所得）

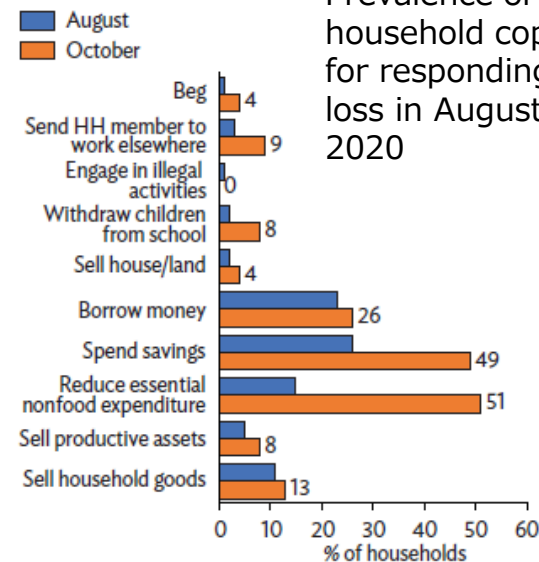
- ◆ COVID-19は、世帯収入へも大きな影響あり（1991年のパリ和平協定以降最大のショック）
- ◆ 政府はCash-for-workやCash transferなどの社会保障政策により、特に貧困層世帯に対する支援を実施。2020年10月までに66万世帯に現金給付を実施する等、COVID-19の貧困世帯への影響を一定程度緩和。JICAはADBとともに財政支援（2020年11月L/A, 250億円）で貢献。
- ◆ 他方、ユニセフの世帯調査によると、世帯収入の減少の影響は大きく、さらなる対策が必要（左図）
- ◆ 同調査では、貯蓄の切り崩しや資産の売却等により急場をしのいでいる状況が確認され（右図）、同影響が続くことによる堅調に推移してきた成長への長期的な悪影響が懸念される。
- ◆ 2021年度の経済成長の巻き返しによる好影響が期待されるものの、包括的な回復には繋がらない可能性も高く、継続的なモニタリングと適切かつ適時の対策が必要。

Magnitude of income reductions reported by households in August and October 2020



Source: UNICEF.

Prevalence of different household coping strategies for responding to income loss in August and October 2020



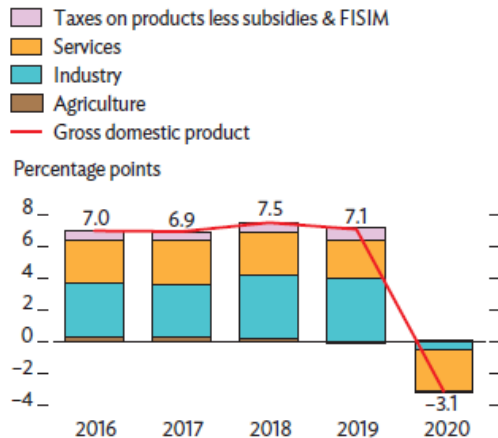
HH = households.

Source: UNICEF.

COVID-19の影響（経済）

- ◆ COVID-19の影響で経済をけん引していた観光客減, 縫製品/靴等の輸出減, 建設の減少が2020年のマイナス成長（-3.1%）に大きく影響（左図）。
- ◆ 2020年の工業生産は1.2%減, 工業製品輸出9.9%減。欧米を主たる輸出先としていた縫製業, 靴, 旅行製品の需要減が影響。
- ◆ 2020年3月に観光ビザ停止、外国人渡航者が80.2%減（中図）。ホテル/レストラン業が36.0%減。
- ◆ 主に食料品価格上昇によりインフレ率1.9%→2.9%。現時点で大きな影響はないものの、高度にドル化された経済の影響により中銀の金融政策が利かせにくい状況に懸念あり。
- ◆ 積極的な財政政策によりCOVID-19の影響を緩和（観光業や縫製業当への税控除等）した影響で2020年歳入が15.3%減少（GDP比22.7%）。同年の財政出動はGDP比25.3%に増加。これらの結果、政府財政収支は3.0%黒字（2019）から2.6%の赤字に転落（2020）（右図）。また、対外債務は28.1%から31.9%（対GDP比）に増加も未だ安全圏にあると判断できる。

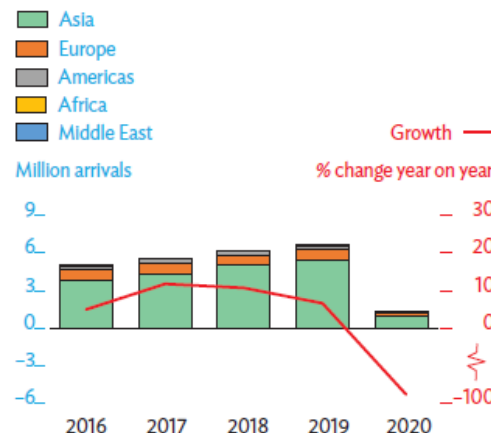
Supply-side contributions to growth



FISIM = financial intermediation services indirectly measured.

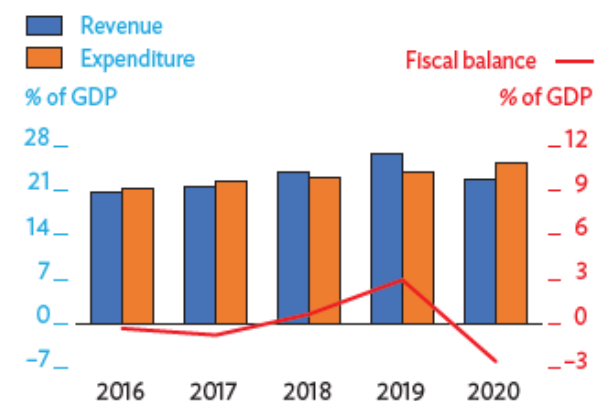
Sources: National Institute of Statistics; Ministry of Economy and Finance; Asian Development Bank estimates.

Tourist arrivals



Sources: CEIC Data Company (accessed 30 March 2021); Ministry of Tourism; Asian Development Bank estimates.

Fiscal Indicators



GDP = gross domestic product.

Source: Ministry of Economy and Finance.

カンボジア コロナ支援主な実績

新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援円借款（250億円+200億円）



- 保健医療、社会保護、経済回復からなるプログラムをADBとともに支援。2021年11月LA調印、翌1月のディスバースを経て、実施状況を継続してモニタリング中。
- フェーズ2（200億円）について、2022年1月12日LA調印。世界銀行と政策アクションの一部を共有。

世界保健医療イニシアティブ



- （無償）「シェムリアップ州リファラル病院改善計画」の着工、（無償）「バタンバン州病院改善計画」の完工（2021年）、経済社会開発無償（外務省）との連携
- 保健システムの強化： UHCアドバイザー、母子保健ケア改善技プロ
- 医療施設高度化支援の検討、新規技術協力の形成に向けた準備・協議を実施中。

足の速い支援の実施



- パスツール研究所にコロナ検査試薬6,000回分を供与。母子保健案件では助産師向けの遠隔教材、開発を実施。新型コロナウイルス対策の技術協力を通じ、ワクチンコールドチェーンの整備に貢献。
- CEP「新型コロナウイルス感染予防にかかるコミュニティ啓発」等を通じ縫製業労働者・妊産婦向けの啓発活動を実施（2021年より継続中）。
- 洪水被害地支援や、技術協力現場で、感染症予防・衛生環境改善のための医薬品・消耗品を供与。

カンボジア ポストコロナ支援

JICA世界保健医療イニシアティブ

予防：ワクチン普及、UHC支援、水・衛生やBHN支援

上下水分野のインフラ整備、技術協力の実施

UHCアドバイザー

新型コロナ対策技術協力プロジェクトの実施

医療施設の高度化（検討中）

警戒：感染症検査体制の整備

治療：感染症診断・治療体制の強化

シエムリアップ州リファレル病院改善計画

技プロ「保健人材継続教育制度強化プロジェクト」

海外投融資による施設整備

**新型コロナウイルス感染症危機
対応緊急支援円借款1+2**

New Normalに向けたDX活用支援

- ・遠隔医療
- ・中央銀行デジタル通貨支援

レジリエントな経済・社会の構築支援

人材育成・農業・都市開発・インフラ・ガバナンス支援

Thank you for your attention



冒頭ご紹介した動画はこちらのQRコードからご覧になれます。他にも教育セクターや農業セクターの動画がございますので、[JICAのYouTubeチャンネル](#)からぜひご覧ください。



ご参考

JICAの対カンボジア支援実績

JICAの対カンボジア協力実績

(単位：億円)

	技術協力	無償資金協力 (交換公文(E/N)ベース)	有償資金協力 (貸付契約(L/A)ベース)
2007年	39.90	68.90	46.5
2008年	39.80	53.10	35.13
2009年	44.50	106.61	71.76
2010年	38.94	107.52	-
2011年	42.67	65.22	114.30
2012年	37.09	66.55	-
2013年	39.40	57.70	88.52
2014年	39.45	83.35	368.09
2015年	34.12	78.36	172.98
2016年	39.69	49.50	111.36
2017年	36.23	25.15	235.02
2018年	54.39	75.97	128.15
2019年	34.63	63.07	294.17
2020年	18.33	29.77	250.00

出所： 外務省HP、JICA年報、JICA事業実績表等

対カンボジア協力実績（技術協力）

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
研修員受入 （人）	417	420	457	514	418	652	493	430	282	133
専門家派遣 （人）	440	301	370	414	252	331	576	667	427	70
調査団派遣 （人）	241	352	269	282	233	226	253	150	86	24
協力隊派遣 （人）	9	12	32	32	31	16	33	45	16	16
その他ボラ ンティア （人）	5	18	10	12	9	7	9	17	0	21
機材供与費 （百万円）	211	60	92	86	57	179	51	49	53	0.6

出所： JICA年報2019, JICA事業実績表

対カンボジア協力実績（円借款：1999年再開後）

案件名	L/A調印日	承諾額 (百万円)
シハヌークヴィル港緊急リハビリ事業	1999.9.24	4,142
シハヌークヴィル港緊急拡張事業	2004.11.26	4,313
メコン地域通信基幹ネットワーク整備事業	2005.3.25	3,029
シハヌークヴィル港経済特別区開発事業（E/S）	2006.3.20	318
メコン地域電力ネットワーク整備事業（カンボジア成長回廊）	2007.3.26	2,632
貧困削減・成長オペレーション（PRGO）	2007.10.9	1,000
シハヌークヴィル港経済特別区開発事業	2008.3.31	3,651
ニロート上水道整備事業	2009.3.25	3,513
シハヌークビル港多目的ターミナル整備事業	2009.8.21	7,176
トンレサップ西部流域灌漑施設改修事業	2011.8.23	4,269
シェムリアップ上水道拡張計画	2012.3.29	7,161
国道5号線改修事業（バタンバン－シソポン間）	2013.5.16	8,852
プノンペン南西部灌漑・排水施設改修・改良事業	2014.7.10	5,606
プノンペン首都圏送配電網拡張整備事業	2014.7.10	6,480
国道5号線改修事業（プレッククダム－スレアマアム間）（第一期）	2014.7.10	1,699
国道5号線改修事業（スレアマアム－バタンバン間、シソポン－ポイペト間）（第一期）	2015.3.30	19,208
プノンペン首都圏送配電網拡張整備事業（フェーズ2）（第一期）	2015.3.30	3,816
国道5号線改修事業（プレッククダム－スレアマアム間）（第二期）	2016.3.31	17,298
国道5号線改修事業（バタンバン－シソポン間）（第二期）	2017.3.30	11,136
シハヌークビル港新コンテナターミナル整備事業	2017.8.7	23,502
プノンペン首都圏送配電網拡張整備事業（フェーズ2）（第二期）	2018.5.28	9,216

対カンボジア協力実績（円借款：1999年再開後）

案件名	L/A調印日	承諾額 (百万円)
国道5号線改修事業（プレッククダム－スレアマアム間）（第三期）	2020.3.24	11,715
国道5号線改修事業（スレアマアム－バットンバン間及びシソポン－ポイペト間）（第二期）ペト間（第二期）	2020.3.24	17,702
新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援円借款	2020.11.10	25,000
シェムリアップ上水道拡張事業（第二期）	2021.10.11	6,336